

## 記者発表資料

2026年(令和8年)

7月6日(月)

16:00 発表

プレスリリース

2026年(令和8年)7月6日

国立研究開発法人

宇宙航空研究開発機構

公立大学法人 会津大学

独立行政法人 国立高等専門学校機構

大島商船高等専門学校

学校法人 京都産業大学

公立大学法人

公立鳥取環境大学

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

国立天文台

Georgia Institute of Technology

学校法人 千葉工業大学

国立大学法人 東京大学

国立大学法人東海国立大学機構

名古屋大学

国立大学法人 北海道大学

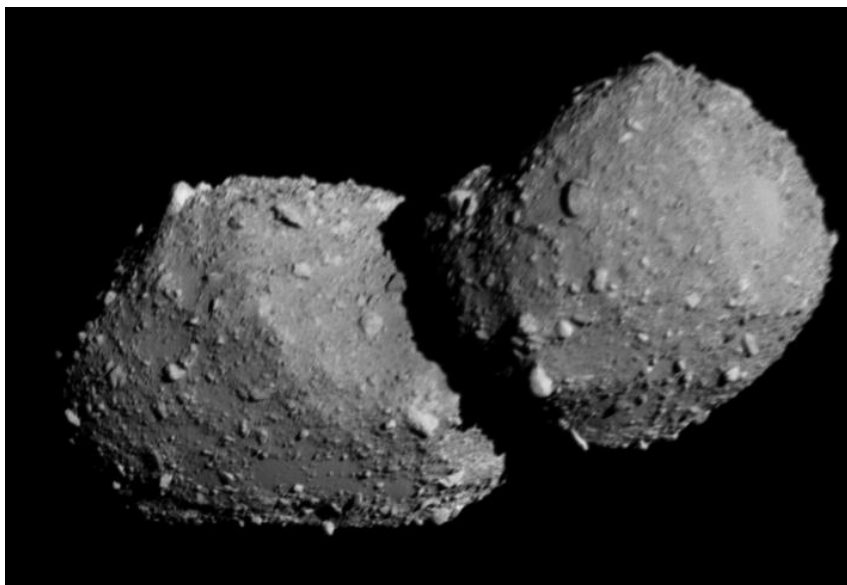
### 小惑星探査機「はやぶさ2」が取得した小惑星「トリフネ」の画像

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、小惑星探査機「はやぶさ2」の拡張ミッションにおける最初の小惑星探査として、小惑星「トリフネ」のフライバイに成功し、7月5日18時35分に地上において、「はやぶさ2」の状態が正常であることを確認しました。

また、小惑星「トリフネ」の画像、サイエンスデータの取得にも成功しましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

#### 記

#### ■望遠の光学航法カメラ(ONC-T)によって撮影された小惑星「トリフネ」



宇宙航空研究開発機構 広報部 報道取材対応窓口: Tel. 050-3362-6119

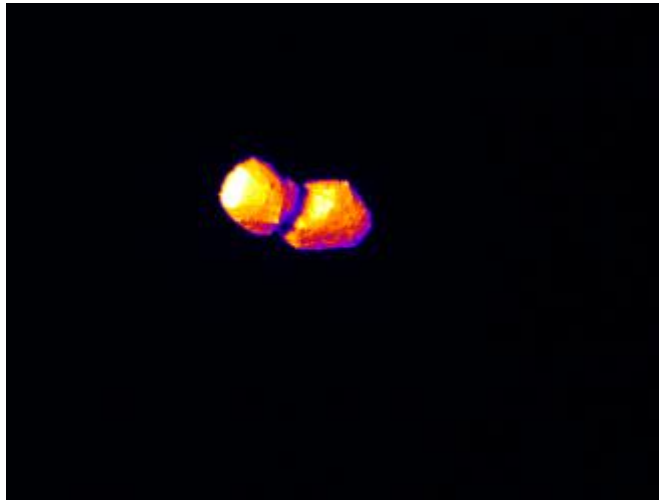
〒101-8008 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ

(画像のクレジット: JAXA、東京大学、千葉工業大学、東京科学大学、産業技術総合研究所、パリ天文台、カナリア天体物理研究所)

#### 望遠の光学航法カメラ (ONC-T) による撮影

・撮影日時:2026年7月5日18時29分59秒(日本時間)(速報値)

#### ■中間赤外カメラ (TIR) によって撮影された小惑星「トリフネ」



(画像のクレジット: JAXA、前橋工科大学、千葉工業大学、会津大学、北海道教育大学、産業技術総合研究所)

#### 中間赤外カメラ(TIR)による撮影

・撮影日時:2026年7月5日18時29分58秒(日本時間)(速報値)

・トリフネまでの距離:約10km

#### [フライバイ探査]

小惑星探査機「はやぶさ2」は、2014年12月にH-IIA ロケット26号機によって打ち上げられ、小惑星「リュウグウ」を探査した後、2020年12月6日に地球へ「リュウグウ」のサンプルを届けました。その後、ミッションを延長し「拡張ミッション」として探査機の運用を続けてきましたが、拡張ミッションにおける最初の探査対象となる小惑星「トリフネ」に、2026年7月5日、18時30分(日本時間/誤差±1秒)に、フライバイに成功しました。(時刻は速報値)

科学機器による観測は、まず ONC-T による観測が6月半ばから開始され、6月20日には「トリフネ」が撮影されました。その後、ONC-T による観測は継続的に行われましたが、その目的は探査機の光学電波複合航法に使うためでした。そして、最接近時刻の1時間ほど前から、NIRS3、TIR、LIDAR による観測も行いました。観測は「トリフネ」に最接近する直前まで行われ、「トリフネ」通過後には行われてい

ません。現時点では、サイエンス機器で取得されたデータの一部のみが、通信によって地上に伝送されました。今後の運用で、残りのデータを地上へ伝送することになります。

参考:「はやぶさ2」に搭載されている科学機器

略称	名称	目的	仕様	外観
ONC-T	光学航法カメラ (望遠)	天体の写真の撮影 航法や科学のデータ取得	・視野角 6.35° × 6.35° ・ピクセル数 1024 × 1024	
TIR	中間赤外カメラ	小惑星表面の温度の計測 熱慣性、表面の粗さ	・視野角 16° × 12° ・観測波長 8~12 μm ・画素数 328 × 248	
NIRS3	近赤外分光計	構成物質の調査 水や水酸基(-OH)の存在	・視野角 0.1° ・観測波長 1.8~3.2 μm ・波長分解能 20nm	
LIDAR	レーザ高度計	小惑星までの距離の測定	・波長 1.064 μm のパルス YAG レーザ ・測距距離 30m~25km	

以上

関連リンク

- [小惑星探査機「はやぶさ2」\(宇宙科学研究所\)](#)
- [はやぶさ2拡張ミッション\(プロジェクトサイト\)](#)
- [プラネタリーディフェンス\(地球防衛\)](#)